

確認テスト 第1部第1章 目標・内容

学籍番号（ ） 名前（ ）

【基礎問題1】

戦前期の学校体育の目標と内容が軍事的性格を帯びていたのはなぜでしょうか。その背景を含めて説明してみましょう。

【基礎問題2】

「身体教育」から「身体運動による教育」へと戦後に大きく転換した理由と、その際に重視された目標を説明してみましょう。

【基礎問題3】

1950年代末から1970年代中盤にかけて、学校体育で体力づくりが重視されるようになった社会的背景を説明してみましょう。

【応用問題1】

生涯スポーツの実践者とはどのような人物か、具体的に考えてみましょう。

【応用問題2】

AI の発達に伴って、将来的に日本における学校体育の目標・内容がどのように変化していくか、考えてみましょう。

確認テスト 第1部第2章 教材・教具

学籍番号（ ） 名前（ ）

【基礎問題1】

体育の授業において教材が果たす役割について説明してみましょう。

【基礎問題2】

教材の良し悪しを判断する「内容的視点」とは何か、具体例を挙げて説明してみましょう。

【基礎問題3】

教材の良し悪しを判断する「方法的視点」とは何か、具体例を挙げて説明してみましょう。

【応用問題１】

体育館や校庭の利用が制限される状況（例：工事中、自然災害の影響など）で、限られたスペースと用具を使って効果的な運動学習を行うためには、運動領域ごとにどのような教材・教具を用いるか、考えてみましょう。

【応用問題２】

グラウンドや体育館だけでなく、校舎周辺や地域の公園・自然環境を活用して体育の授業を行うとしたら、どのような教材・教具を考案できるか、移動時間や安全管理といった条件を踏まえながら、アイデアを考えてみましょう。

確認テスト 第1部第3章 学習指導

学籍番号（ ） 名前（ ）

【基礎問題1】

「指導方略 (teaching strategy)」には大きく二つの分類があります。これらの名称と概要を説明してみましょう。

【基礎問題2】

年間指導計画や単元計画を考える際に「学習指導モデル」を活用する意義を説明してみましょう。

【基礎問題3】

1コマの授業を展開するうえで必要とされる「四大教師行動」について、その名称と概要を説明してみましょう。

【応用問題１】

あなたが体育の授業を担当するクラスでは、生徒同士のコミュニケーション不足が目立ち、いじめやトラブルはないものの人間関係が希薄です。あなたなら、この状況を改善するために、体育における学習指導の方法をどのように工夫するか、考えてみましょう。

【応用問題２】

あなたが体育の授業を担当するクラスに、感覚過敏で集団活動や大きな音などに辛さを感じる児童（生徒）がいます。クラスメイトと一緒に授業を受けたいという意欲はあります。こうした児童（生徒）も含めて、クラス全員が安心して学べる環境を整えるためには、指導方略でどのような配慮が必要か考えてみましょう。その際、教職員や保護者との協力体制も考慮しつつ、具体的なアイデアを考えてみましょう。

確認テスト 第1部第4章 学習評価

学籍番号（ ） 名前（ ）

【基礎問題1】

学習評価が教育活動においてどのような役割を果たしているか、本文の内容に基づいて説明してみましょう。

【基礎問題2】

観点別学習状況の評価で重視される「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」とはそれぞれどのような力か、簡潔に説明してみましょう。

【基礎問題3】

「感性、思いやり等」が評定に含まれず、個人内評価として扱われるのはなぜでしょうか。その理由を説明してみましょう。

【応用問題１】

あなたがこれまで受けてきた授業の中で、納得がいかなかった評価をされたときのことを振り返り、その要因や改善策を考えてみましょう。

【応用問題２】

あなたは「評価をされること自体に抵抗感をもつ児童（生徒）」が多いクラスを担当する際に、どのような手続きで評価をすれば、評価の結果が児童（生徒）の成長を促すことにつながるか、考えてみましょう。

確認テスト 第2部第1章 体づくり運動

学籍番号（ ） 名前（ ）

【基礎問題1】

体づくり運動では、内容の表記が「知識及び技能」ではなく「知識及び運動」という表記になっているのはなぜでしょうか？ 説明してみましょう。

【基礎問題2】

「体ほぐしの運動」としてストレッチをする際に、どのような工夫が必要でしょうか？ 理由も合わせて、具体的に説明してみましょう。

【基礎問題3】

「体の動きを高める運動」の動きを持続する能力を高める運動として持久走を行う際に、どのような工夫が必要でしょうか？ 理由も合わせて、具体的に説明してみましょう。

【基礎問題4】

「実生活に生かす運動の計画」において、運動計画を立てる際の4つの観点を元に、現在の運動の実施状況を評価し、課題を挙げ説明してみましょう。

【応用問題１】

同僚の先生から「体づくり運動」は各運動領域の準備運動でいいよ、と言われてしまいました。このような状況であなたなら、どのように対応するか考えてみましょう。その際、説得を試みる場合と試みない場合に分けて考えてみましょう。

【応用問題２】

「体の動きを高める運動」を校庭で行う予定が、急に雨が降ってきてしまい、体育館も他のクラスが使っていました。あなたなら、どのように対処するか、考えてみましょう。

確認テスト 第2部第2章 器械運動

学籍番号（ ） 名前（ ）

【基礎問題1】

器械運動の特徴はどこにあるでしょうか？ 器械運動で向上の期待できる具体的な運動感覚と合わせて説明してみましょう。

【基礎問題2】

「マット運動」において ICT 機器を活用するメリットはどこにあるでしょうか？ 理由も合わせて、具体的に説明してみましょう。

【基礎問題3】

「鉄棒運動」において学習の場が限定される場合に、どのような工夫が必要か説明してみましょう

【基礎問題4】

「平均台運動」において、安全に学習を進めるための配慮について具体的に挙げ説明してみましょう。

【基礎問題5】

「跳び箱運動」において、多数の学習の場を用意し、学習者が選択して取り組む際にどのようなことに留意する必要があるか説明してみましょう。

【応用問題1】

跳び箱の授業において、クラスで1人だけどうしても跳び箱の課題ができない児童（生徒）がいて、つまらなそうにしています。あなたならこの児童（生徒）が楽しく授業に取り組めるようになるために、どのように声をかけるか、考えてみましょう。

【応用問題2】

マット運動の授業で、倒立を行うためにペアで補助をする活動を行おうと思いますが、クラスには身長の高い児童（生徒）が1人います。あなたならどのような工夫をするか、考えてみましょう。

確認テスト 第2部第3章 陸上競技

学籍番号（ ） 名前（ ）

【基礎問題1】

陸上運動・陸上競技領域では、学習者のどんなところを評価できるようにすることが重要であるか、説明してみましょう。

【基礎問題2】

短距離走やリレーでは、学習者が固定的な能力観を抱いてしまうことがあります。どんな授業だとそうした能力観を抱かせてしまうのでしょうか。また、そうした能力観を抱かせないために教員としてできる工夫はどんなものなのでしょうか。説明してみましょう。

【基礎問題3】

長距離走と持久走の学習指導要領上の位置づけと目的の違いについて説明してみましょう。

【基礎問題4】

ハードル走の本来の目的である、スタートからゴールまでいかに障害物に邪魔をされずに走り切れたか、という学習の成果を見取るためにはどんな学習過程を構成すると良いのでしょうか。説明してみましょう。

【基礎問題5】

走り幅跳びで、伸びやかな空間動作ができない学習者がいた際に、例えばどのような手立てで伸びやかな空間動作を教えてあげることができるでしょうか。説明してみましょう。

【基礎問題6】

走り高跳びの主要な跳び方である「はさみ跳び」「ベリーロール」「背面跳び」のうち技術的な共通性がある2つの跳び方について、技術が生み出された背景をもとに説明してみましょう。

【応用問題1】

短距離走の授業において、校庭の一部が工事をしていて 50m のコースが作れません。あなたならどのように授業を行うか、考えてみましょう。

【応用問題2】

ハードル走の授業において、たまたまその日は砂埃が舞うくらい風が強い日でした。あなたなら、どのように授業を展開するか、考えてみましょう。

確認テスト 第2部第4章 水泳

学籍番号（ ） 名前（ ）

【基礎問題1】

水泳の特性はどのような点にあるでしょうか。具体的な観点を挙げて説明してみましょう。

【基礎問題2】

クロールが苦手な学習者に対して、技術習得を促すための指導過程を具体的に説明してみましょう。

【基礎問題3】

平泳ぎであり足が生じる原因と、修正するための効果的な練習方法について説明してみましょう。

【基礎問題4】

背泳ぎで自分の動きが確認できない学習者に対して、教師はどのような指導の工夫をすればよいか、説明してみましょう。

【基礎問題5】

バタフライの「うねり動作」を習得するには、どのような練習が効果的か段階的に説明してみましょう。

【応用問題1】

水泳の授業において、たびたび見学・欠席する児童（生徒）がいます。理由を聞いてみると「塩素で肌が荒れるのが嫌で入りたくない」と訴えてきました。クラス全員が楽しく授業に取り組めるよう、あなたならどう対応するか、考えてみましょう。

【応用問題2】

水泳の授業において、たびたび見学・欠席する女子児童（生徒）がいます。理由を聞いてみると「男子の視線が気になり水泳の授業に参加したくない」と訴えてきました。クラス全員が楽しく授業に取り組めるよう、あなたならどう対応するか、考えてみましょう。

確認テスト 第2部第5章 球技

学籍番号（ ） 名前（ ）

【基礎問題1】

小学校から高等学校までの球技の技能はどのように変化しているでしょうか。説明してみましょう。

【基礎問題2】

サッカーなどでボールを持たない動きを指導する際に、アウトナンバーゲームが有効であると考えられますが、アウトナンバーゲームとはどのようなゲームでしょうか。説明してみましょう。

【基礎問題3】

バレーボールなどで全員がボールに触球する機会を保障するためには、どのような工夫が必要でしょうか。説明してみましょう。

【基礎問題4】

野球・ソフトボールなどのベースボール型の競技への興味・関心を高めるためには、どのような問いかけが有効でしょうか。説明してみましょう。

【応用問題１】

ゴール型の授業において、バスケットボールを行う際に、クラスを 5 つのグループに分けました。しかし、各グループの人数を同数にしようとする と 1 グループだけあまりの人が出てしまいます。人数が違ってても楽しく授業を行うためにはどのように工夫するか、考えてみましょう。

【応用問題２】

ネット型の授業において、キャッチバレーボールを行うときに、技能水準の高い一部の児童（生徒）から「このルールだとつまらない、オフィシャルルールがいい」という意見が出ました。クラス全員が楽しく授業に取り組めるようにするために、あなたならどう対応するか、考えてみましょう。

確認テスト 第2部第6章 武道

学籍番号（ ） 名前（ ）

【基礎問題1】

学習指導要領における武道領域の「思考力、判断力、表現力等」に関する目標を参照したとき、中学校と高等学校ではどのような違いがあるか、説明してみましょう。

【基礎問題2】

柔道において、受け身を2人組で練習することは、投げ技の学習にどのような影響を与えると考えられますか？ 理由も含めて説明してみましょう。

【基礎問題3】

剣道の学習を振り返る際に、武道における伝統的な考え方とどのように関連付けることができますか？ 具体的な学習場面を一つ取り上げて説明してみましょう。

【基礎問題4】

相撲特有の動きには、どのような儀礼的意味が込められているでしょうか？ 具体的な所作を例にあげて説明してみましょう。

【応用問題１】

武道の授業において、授業前後の時間に生徒がふざけて技をかけあったりすることが、怪我につながる場合があります。このような怪我を防ぐためには、どのような環境整備が必要か、考えてみましょう。

【応用問題２】

武道の授業において、非常に寒い日に体育館（武道場）で行わなければならなくなりました。あなたならどのような工夫をして授業を展開するか、考えてみましょう。

確認テスト 第2部第7章 ダンス

学籍番号（ ） 名前（ ）

【基礎問題1】

ダンス領域は大きく3つのタイプによって構成されていますが、その3つとは何でしょうか？ また、ダンス領域が他の領域と異なるのはどのような点か、説明してみましょう。

【基礎問題2】

表したいテーマやイメージを、工夫を凝らして表現することが求められる「創作ダンス」の授業づくりにおいて、授業の準備段階及び導入においてどのような工夫が必要でしょうか？ 説明してみましょう。

【基礎問題3】

日本の民謡や海外のフォークダンスを踊りながら、仲間との交流の楽しさを感じられる「フォークダンス」では、他の2つのダンスのタイプと異なりどのような工夫が大切でしょうか？ 説明してみましょう。

【基礎問題4】

ロックやヒップホップのリズムに合わせ、全身での躍動感を感じられる「現代的なリズムのダンス」では、学習者の積極的な参加のためにどんな工夫が大切でしょうか？ 説明してみましょう。

【応用問題1】

ダンスの授業において、恥ずかしがって積極的に参加しない児童（生徒）がいます。その児童（生徒）が男性の場合（女性の場合）、あなたはどのように対処するか、考えてみましょう。

【応用問題2】

ダンスの授業において、男女ペアで活動することに抵抗を感じている児童（生徒）がいます。あなたなら、性別に関わらず一緒に活動することの意義をどのように説明するか、考えてみましょう。

確認テスト 第2部第8章 体育理論

学籍番号（ ） 名前（ ）

【基礎問題1】

体育理論領域では、中学校から高等学校にかけての6年間で系統的に学んでいくことが求められています。中学校・高等学校それぞれどのような観点で学び、理解を深めていくことが求められているのでしょうか。説明してみましょう。

【基礎問題2】

「文化としてのスポーツの意義」の単元において、オリンピックやパラリンピックなどの世界的なスポーツ大会の社会的な意義や効果と負の側面について具体的に説明してみましょう。

【基礎問題3】

「安全な運動やスポーツの行い方」では、体育の授業や運動部活動など、日常的な運動やスポーツの場面における危険予測が安全管理の上で重要となります。上記の場面においてどのような危険が潜んでいるのか、また、それらの危険に対してどのような安全への配慮が必要となるのか、具体的に説明してみましょう。

【基礎問題4】

生涯にわたる豊かなスポーツライフを実現するためには、卒業後に自身のライフスタイルに応じたスポーツ環境を見つけ、スポーツライフを設計していくことが重要となります。自身の出身地域における、全ての人々が楽しむことができるスポーツ環境について、地域名、施設名に加えて具体的にどのような楽しみ方ができるのかを説明してみましょう。

【応用問題１】

体育理論の授業において、授業前に生徒が「天気良いから外で運動したかったのに」と言ってきました。あなたなら、どのように返答して体育理論への動機づけを高める工夫をするか、考えてみましょう。

【応用問題２】

体育理論の授業の導入場面では、先生の経験談を話すことで学習への動機づけを高めることができます。各単元で、自分自身のどのような経験が使えるか、考えてみましょう。